

12 かぶとのペーパークラフトをつくろう

今日は5月5日、端午の節句です。男の子のいるお宅にはかぶとが飾られているかもしれませんね。今回はそれにちなんで、当館オリジナルの「かぶとのペーパークラフト」のご紹介です。少し難しいかもしれませんが、チャレンジしてみてください。

モデルになったかぶとは、豊岡市出石町の宮内堀脇遺跡から出土しました。この遺跡は室町時代に但馬国の守護であった山名氏の本拠・此隅山城（このすみやまじょう）のふもとにあり、発掘調査した場所は山名氏の重臣の屋敷跡と推定されています。



此隅山城と宮内堀脇遺跡



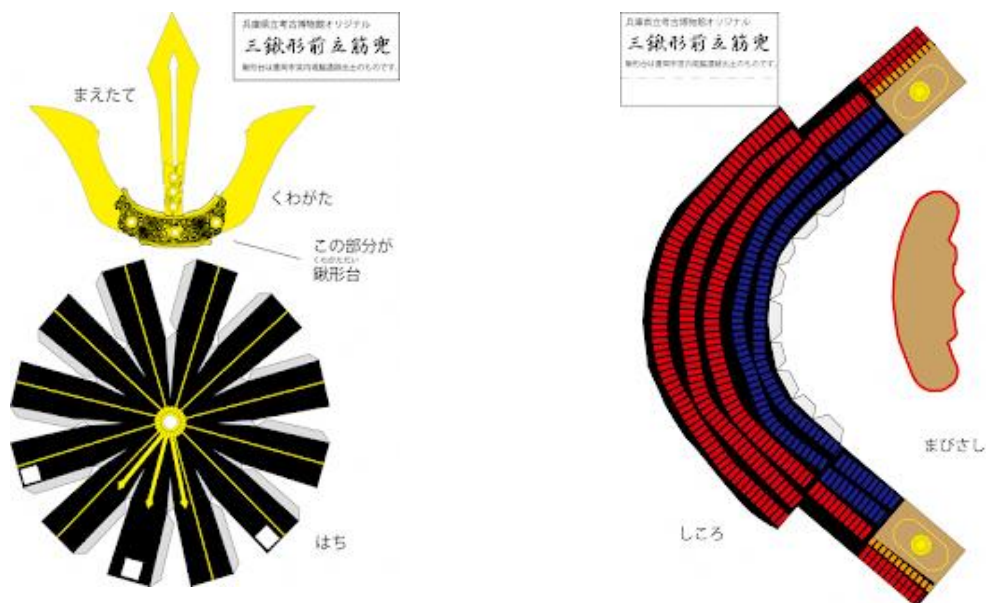
発掘調査の様子

出土したのはかぶとの部品である「鍬形台（くわがただい）」です。かぶとの前には「鍬形（くわがた）」という角のような飾りが付きますが、その根元にあつて鍬形をかぶと本体（鉢といいます）に固定するための金具です。精巧な装飾が施された優品であり、上級武士にふさわしいものです。



宮内堀脇遺跡出土の鍬形台

それではペーパークラフトを作ってみましょう。まず下の写真をクリックしてpdfファイルを紙に印刷してください。サイズはお好みでけっこうです。少し厚めの紙の方が作りやすいでしょう。(2枚に分かれています)



次に台紙から部品を切り出します。少し細かいですから注意して切り出してください。



次に鉢（はち）を組み立てます。のりしろにのりを付けて貼り合わせてください。



次は「しころ」の両端を折り曲げて貼り合わせます。そのあと端を少し巻いてください。



最後に鉢、しころ、まびさし、くわがた・まえたての4つの部品を貼り合わせて完成です。うまくできましたか？大きな紙で作ると、小さなお子さんなら本当にかぶることができますよ。



(企画広報課 多賀茂治)